

北の物販大富豪 謁見音声 書き起こし資料

2014年12月24日 謁見収録 No.01



はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販大富豪【公式】倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。



北野会長：
iphone6って？

真田 孔明：
iphone6です、はい

北野会長：
おお～、やっぱいいねえ

真田 孔明：
そうですね、でかいから

北野会長：
俺の友達もこれ持ってて

真田 孔明：
はい

北野会長：
すごくきれいやしいね、う～ん

真田 孔明：
ヒルトンで何か投資って、あ、ヒルトンじゃなくて、え～リッツカールトン

北野会長：
いや、ここ全部の

真田 孔明：
はい

北野会長：
要は、どういうの？マレーシアのジョホールはモレックパイン3を売り出しとったでしょ？

真田 孔明：
うんうんうん

北野会長：
あの～こういう建物をこう映して



真田 孔明：

はいはい

北野会長：

ああいうサイトを作れば

真田 孔明：

はい

北野会長：

これ全部頂かもしれんやろ？

真田 孔明：

へえ～ああ

北野会長：

サイトはあなたが作らはんよ？

真田 孔明：

ああ～

北妻：

ジャスコないとだめね

北野会長：

本当？

北妻：

エイトタウンみたいに

真田 孔明：

厳しいですね、これでもね、はい

北妻：

さっきそう言ってた

北野会長：

あ～ん・・・だからいや、そういう話を今・・・お、ちょっとパンフレットみせて、そのリッツのパンフレットは持ってこない？ごっついもんね、リッツのやつは



真田 孔明：

へえ～

北野会長：

うちのマンションの前にできとるやつなんやけど

真田 孔明：

へえ～、あ、そう、こっちはもうお住まいはマンションなんですね？

北野会長：

そうそうそうそう

真田 孔明：

アラモアナの近い家？

北野会長：

そうそう、アラモアナショッピングセンターのまん前

真田 孔明：

お～まん前っすか

北野会長：

で、これが、ここの価格なんやけど

真田 孔明：

はい

北野会長：

リッツの価格から見たら

真田 孔明：

はい

北野会長：

リーズナブルなんやけど

真田 孔明：

うん

北野会長：



見た通り、やっぱ何億も入ってる、結構・・

真田 孔明：

すごいよ、値段が、スクエアフィート640、1,000スクエアフィートで、1億円、1億2,000万ぐらい？

北野会長：

そうそうそうそう、部屋なんかものすごく小さいよ？ねえ？

真田 孔明：

笑 香港みたいですね

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

そうそう昔の香港、今はもっと値上がっちゃいますけど

北野会長：

ああ～

真田 孔明：

そんな高いの売れるんですね

北野会長：

そうそう、そう思うやろ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

一個の部屋やで？これ？

真田 孔明：

笑

北野会長：

いやいや、だから私は貧乏やから

真田 孔明：



はい

北野会長：

ジョホールバルね、鉄板焼きや言うかと思ったら、じゃあ買っとくわ言って買ったんやで

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

あそこ1,000・・・

真田 孔明：

160平米で

北野会長：

そやる？1,000・・・

真田 孔明：

2,000何百万とか？

北野会長：

1,700何十スクエアフィートやる？

真田 孔明：

そうそう

北野会長：

でここの換算に掛け算して

真田 孔明：

そうそう

北野会長：

何億すると思う？

真田 孔明：

え・・・

北野会長：

これにやって120円かけるのやで？



真田 孔明：
ああ〜、そうっすね

北野会長：
そやろ？

真田 孔明：
今は、はい・・・1,000スクエアフィート、1億2,000万、90平米ぐらいですよ？

北野会長：
そうそうそうそう

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
90平米、1億

真田 孔明：
すごいね・・・

北野会長：
うん、これは

真田 孔明：
はい

北野会長：
今来るドクターの

真田 孔明：
はい

北野会長：
先生にもこれ、見せてあげんと

真田 孔明：
ああ〜そうですか



北野会長：

ちょうどそれでうちのお客さん、先生もここを結構買ったんや

真田 孔明：

ああ～そうですか、さすがですね先生達も 笑

北野会長：

そうそう、だからあの～今度来る先生もここにいたら、楽しめるんや

真田 孔明：

ああ～、年末年始やっぱり先生方、いっぱいいらっしゃるんですか？

北野会長：

そうそうそうそう

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

だから

真田 孔明：

はい

北野会長：

まあまあ、面白いかなと

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

ひとつのサイトという考え方

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、あと、たま回しの問題やね

真田 孔明：



最近でもこっちで流行ってる、あれですね、ディズニーのなんとかリゾートとか

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

ヒルトンリゾート

北野会長：

バケーション

真田 孔明：

バケーションクラブとか、あれも結構いかつい値段ですよ？一口、500万とか

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

そういうので

北野会長：

でも500万の三分取ったって、15万やる？

真田 孔明：

ええ

北野会長：

ね

真田 孔明：

そうですね

北野会長：

こういうの、一発仕掛けりゃ、リッツなんか6億とかさ

真田 孔明：

6億！？すげえ！ 笑

北野会長：

ね、たったひとつの部屋やよ？



真田 孔明：

はいはい

北野会長：

6億ぐらいするんやよ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、だから孔明さん金好きやから

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、そういう話もしといた方がいいかなと思って

真田 孔明：

6億の%だったらでかいですよ

北野会長：

でかいやろ？な、売る時はね、3%やから

真田 孔明：

3%

北野会長：

あんまり甘くねえやね

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

ところが

真田 孔明：

はい



北野会長：
その部屋を

真田 孔明：
はい

北野会長：
次転がすやる？

真田 孔明：
転がす、はい

北野会長：
そしたら持ち主に、頼まれて

真田 孔明：
はい・・・あ！売って下さいと！

北野会長：
そう！

真田 孔明：
そうですね 笑

北野会長：
そしたら6分になるんやで

真田 孔明：
はいはい、なるほど

北野会長：
わかる？

真田 孔明：
はい

北野会長：
 $6 \times 6 = 3,600$ 万くらい

真田 孔明：



3,600万くらい

北野会長：

一発仕掛けりゃ

真田 孔明：

はい、大抵売りたい時にしかも相手が金に困ってる時ですよ？

北野会長：

そうそうそうそう 笑

真田 孔明：

そういう時ですよ 笑

北野会長：

いやでも、抜き上がりもあるんや

真田 孔明：

ああ確かに、値上がってね

北野会長：

そうそうそうそう、ね、だから

真田 孔明：

はい

北野会長：

ま、じゃあそれはもう、ここに終わった人も

真田 孔明：

はい

北野会長：

あるやろうし、抜き上がりもあるやろうし

真田 孔明：

はい

北野会長：

だからハワイの値段なんてのはね、下がる事がない



真田 孔明：

はい

北野会長：

って言われるほど

真田 孔明：

うん

北野会長：

面白いゲームなわけ

真田 孔明：

はいはい

北野会長：

ここは

真田 孔明：

ここは

北野会長：

そういうゲームの場所なんや

真田 孔明：

はい 笑 ちびちびとやるよりも、どかっと 笑

北野会長：

そうそうそうそう 笑 だからうちのメンバーさんでも

真田 孔明：

はい

北野会長：

あなたのとこの、えーっと、ゴールド会員とかさ

真田 孔明：

はい



北野会長：
プラチナ会員とかいるやる？

真田 孔明：
はい

北野会長：
ね

真田 孔明：
はい

北野会長：
私から言うところのブラック会員おるやて

真田 孔明：
ブラック 笑 確かに

北野会長：
ブラック会員、ね、ブラック会員のおじさん達が

真田 孔明：
はい

北野会長：
俺の事、少年って言いながら

真田 孔明：
ああ～すごいですね

北野会長：
敬語やけど・・・

真田 孔明：
上の世代の！ 笑

北野会長：
そうそうそうそう

真田 孔明：



爆笑 少年・・

北野会長：

だから、たま持っとるロットが違うのよ

真田 孔明：

ロットが違うんですね

北野会長：

わかるやろ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

なんで俺、おめえらにそんな言われるんだって思うくらい、腹立つんやけど

真田 孔明：

はい

北野会長：

彼等から見たら、ずっと年下やし

真田 孔明：

はい

北野会長：

少年なんや

真田 孔明：

なるほど

北野会長：

気に食わんけど・・

真田 孔明：

さすが日本ですね

北野会長：

さすがだから、だから日系何世とかおるし



真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、ペントハウスさ・・・

真田 孔明：

うん

北野会長：

どっか知らんところでも3、4億使うのよ、みんな

真田 孔明：

はい

北野会長：

う〜ん、ねえ、それで大体日本人の

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、おじさんがさ

真田 孔明：

はい

ウハウハして、持っとるわけよ

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

だから、この間会ったおじさんなんか、二棟の・・・ツインタワーのふたつぐらい

真田 孔明：

ふたつ ペントハウス 笑

北野会長：



「俺が持ってる」って

真田 孔明：

これ本当に持つと、こっちいっちゃう、ペントハウス

北野会長：

おじさんよく、おじさん何してる人なの？俺あの～アラモアナの中の白木屋ってのがあるんだけど

真田 孔明：

おお～

北野会長：

その所有者で

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、あの～今度、あそこの島あるやろ？ハワイ島じゃなくて・・・マウイ島

真田 孔明：

はい

北野会長：

「あそこに俺、ね、ひとつホテル持ってるから」

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

ホテル持ってるから

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

ホテル1棟やぞ？

真田 孔明：



1 棟

北野会長：

バカでねえかと、だからやっぱブラック会員ちゅうのはおるんやて

真田 孔明：

わかる 笑 やっぱハワイすごい

北野会長：

ねえ、やっぱだからその桁違うね

真田 孔明：

桁違いますよね

北野会長：

発想というのがさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

そやる？5時半・・・俺あれ20何日やっけ？あんたにメール打ったの？あの日頼みに来てこんなやで

真田 孔明：

はい

北野会長：

その前の日まで、次の日からじゃないと受付せんとか言ってさ

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

次の日来たら、ね、もう5時半はだめ

真田 孔明：

ああ～

北野会長：



次の8時から

真田 孔明：
8時から・・・

北野会長：
だからすごい、やっぱ、たま回っとる世界なんや、ここは

真田 孔明：
そうですね

真田 孔明：
昨日もウルフギャングっていうところのステーキ屋行って

北野会長：
あれウルフギャングやる？

真田 孔明：
ウルフギャング、はい、あの～色々、アナの中に書いてあったんで、あの～、もう予約も9時しか取れなくて

北野会長：
ああ～本当？

真田 孔明：
はい

北野会長：
ああ～

真田 孔明：
しかもそれでもすごい満員でしたね？

北野会長：
そやろ？満員やろもう

真田 孔明：
恐ろしいですね

北野会長：



ここ一番おいしいのステーキ

真田 孔明：
ステーキ、うんうん

北野会長：
あ、ここ、旅行者にはここ一番って書いてあるんやけど

真田 孔明：
はい

北野会長：
もっとこう現地の人達が集まるところは

真田 孔明：
またあるんですね

北野会長：
ああ、ある

真田 孔明：
あそこ、徒歩で行けるからいいですよ

北野会長：
そうそう

真田 孔明：
ここら辺だと・・・

北野会長：
あ～だからそういうのが、あんた、ねえ・・・

真田 孔明：
はい

北野会長：
で、今度話の、あんたんこの話

真田 孔明：
はい



北野会長：
切り出しは

真田 孔明：
はい

北野会長：
あの、どうなの？俺はわからないけど

真田 孔明：
はい

北野会長：
あなたからこう、チョイスしてみて

真田 孔明：
はい

北野会長：
相手がよ

真田 孔明：
はい

北野会長：
あの、1億を貯めるための講演なのか、10億貯めるための話を聞きたいのか、100億のロットで話をしたらいいのか

真田 孔明：
まだそこまで行ってないですね、はい、まだあの、東京案件を

北野会長：
はい

真田 孔明：
いかにやるかっていう 笑

北野会長：
うん、だからあの、俺から言うと



真田 孔明：

はい

北野会長：

あの～どういふの？え～っと、ちょっとあのサイトでさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

複利計算いうとこ

真田 孔明：

複利計算

北野会長：

複利計算

真田 孔明：

複利計算

北野会長：

あんた金融工学者やから

真田 孔明：

金融工学者 笑 ・ ・ 複利計算いつもエクセルでやってるんで ・ ・ え～で複利計算

北野会長：

だから 表を開いて

真田 孔明：

はい

真田 孔明：

はい ・ ・ あ、もうひとえにこの、銀行から融資を受けて

北野会長：

うんうん



真田 孔明：
とりあえずあの、政治献金案件に入れると

北野会長：
うんうん

真田 孔明：
もうここのところだけに集中するだけでもいいと思うんですよね

北野会長：
う〜ん

真田 孔明：
それに今まではほらあの、僕の、全部が僕の間接的な話しか聞いてないじゃないですか？皆さん？

北野会長：
うんうん

真田 孔明：
で、今度はこっちにこられた人は、直接お会いして、「あ、この方が北の物販大富豪さんだ」

北野会長：
笑 ちょっと言い過ぎやけど

真田 孔明：
笑

北野会長：
ここに

真田 孔明：
はい

北野会長：
元本を

真田 孔明：
元本、はい



北野会長：

1,200

真田 孔明：

1,200

北野会長：

1,200万

真田 孔明：

1,200万円、はい

北野会長：

と、そこが

真田 孔明：

はい

北野会長：

利率が24%

真田 孔明：

24%、はい

北野会長：

30%でやっても税金が2割かかるから

真田 孔明：

ああ、そうですね、はい

北野会長：

10年を

真田 孔明：

10年を

北野会長：

で、そのまま

真田 孔明：



はい

北野会長：
計算をすると

真田 孔明：
はい

北野会長：
だから、この・・・

真田 孔明：
お、おお～

北野会長：
1億で

真田 孔明：
1億ですね、はい

北野会長：
ね

真田 孔明：
はい

北野会長：
だからこの持ってる金のサイクルの話なんやで

真田 孔明：
はい

北野会長：
ね、そうしないと

真田 孔明：
はい

北野会長：
1,200万の人がたとえばさ、1億2,000万、俺今持ってるんやと



真田 孔明：

はい

北野会長：

24%やったら10億になるよと

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

ね

真田 孔明：

はい

北野会長：

だから12億の人が

真田 孔明：

はい

北野会長：

24%これ回せば

真田 孔明：

はい

北野会長：

100億なくなっちゃうよと

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

どっかでこれ、なんか見てたら

真田 孔明：

はい



北野会長：

あんた何か、5億円倶楽部、100億みたいな事書いてあったから

真田 孔明：

はいはい

北野会長：

って事は孔明さんも100億狙ってるのかなと

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

って気がしたから

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、こっちのブラックリストじゃないけど、ブラックカードのおじさん達みたいや

真田 孔明：

うん

北野会長：

ロットは

真田 孔明：

はい

北野会長：

余ってたんか？

真田 孔明：

ロット違いますよ、全然 笑

北野会長：

いやいや 笑 だから一応聞いておかないと

真田 孔明：



はい

北野会長：

要はこういう事と、あとたまを引く事の話

真田 孔明：

はい、そうですね、たまを引くのもちょうどあの～、ね、●●さんに教わったあの方法で

北野会長：

うんうん

真田 孔明：

うちの弟ちょうど起業して今年6月に

北野会長：

ああ～

真田 孔明：

あ、7月に起業して、11月の先週に●●●●から1,000万

北野会長：

ええ

真田 孔明：

あと日本政策金融公庫からも多分もう1,000万確定

北野会長：

はいはいはい

真田 孔明：

まずは2,000万 笑 それで物販も海外のやつ、ちゃんと正規の販売店取って

北野会長：

ええ

真田 孔明：

それでまあ、それを売りながらこの売り上げ高を作っていくというのを、今ちょうど始めてるところなんです



北野会長：

うんうん

真田 孔明：

でもそれにお金引っ張ったんで、やっぱ2,000万、2,000万のうち1,000万は●●●●は、創業
融資その商品の仕入れにしか使えないんですけど

北野会長：

ああ～

真田 孔明：

もう1,000万は5%で・・・はい、あの～1回自分に貸し付けして

北野会長：

うんうんうん

真田 孔明：

うん、ま、期がまたぐ前に戻すみたいな感じになっちゃうんですけど

北野会長：

あのね、それちょっとゴメン

真田 孔明：

はい

北野会長：

それ、貸し付けたらダメ

真田 孔明：

あ、ダメですか？

北野会長：

帳簿上起こしたら

真田 孔明：

はい

北野会長：

それよりも現金勘定に入れとかないと



真田 孔明：
現金勘定に入れるんですか？

北野会長：
そやよ、お金あるやろ？1,000万？

真田 孔明：
はい

北野会長：
それを孔明さんに貸した言うたらさ、会社が・・

真田 孔明：
はいはい

北野会長：
ね

真田 孔明：
社長でもダメですか？

北野会長：
社長でもおかしいやねん？

真田 孔明：
はい

北野会長：
社長の会社の金を

真田 孔明：
はい

北野会長：
借りてってるのは

真田 孔明：
ああ～



北野会長：

それよりも金庫に、あそこ金庫あると・・金庫に1,000万入れといたと

真田 孔明：

ああ～、金庫にか

北野会長：

金庫に入れた

真田 孔明：

金庫に1,000万

北野会長：

そう！簡単やる

真田 孔明：

あ、現金が必要だからとか？

北野会長：

そうそうそうそう

真田 孔明：

仕入れとか

北野会長：

色んな事あるから

真田 孔明：

はい

北野会長：

現金が必要なんですよ

真田 孔明：

はい

北野会長：

そんなこと言うとかばさ

真田 孔明：



はい

北野会長：

金庫にお金が入っとる

真田 孔明：

金庫かあ〜、そこはちょっとわかってなかったなあ、やばい

北野会長：

ね、法人から、社長であろうと

真田 孔明：

はい

北野会長：

借入れすると

真田 孔明：

はい

北野会長：

金の貸し借りという問題が起こる

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

金庫を鍵でわからねえから 笑

真田 孔明：

爆笑 はい、なるほど〜

北野会長：

ね

真田 孔明：

金庫の中に置いとくと

北野会長：

そ



真田 孔明：

1回ちょっと現金で引き出しちゃうんですからね

北野会長：

現金で引き出す、引き出して金庫に入れたつもりで楽天へ入れて、利息で得なんや

真田 孔明：

なるほど、はい

北野会長：

さらっとこうやらんと

真田 孔明：

さらっと

北野会長：

金庫に入れると

真田 孔明：

ほお～、それで銀行の、あの幹部の方に聞いたら

北野会長：

ああ

真田 孔明：

社長に別に貸し付けても、期がまたぐ前に

北野会長：

うん

真田 孔明：

戻ってればいいと

北野会長：

うんうん

真田 孔明：

言っていましたけどね



北野会長：

うんうん、それよりもやっぱ金庫に入れるのは間違いない

真田 孔明：

金庫に入れば間違いないですね 笑 うわあ～単純な発想で、すげえなあ～それ、あそっか、金庫か、そういうのは帳簿上にあるんですね？金庫に入れる

北野会長：

いや、現金勘定ってのがあやろ

真田 孔明：

そのままか

北野会長：

貯金通帳から出ましたと

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね

真田 孔明：

はい

北野会長：

そしたらそれは、現金出納帳の現金に置くわけ

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

で1,000万

真田 孔明：

1,000万

北野会長：

それで楽天に放って、あと知らん顔



真田 孔明：
うわあ〜、すごいすね

北野会長：
悪いけどたくさんやってるから

真田 孔明：
爆笑・・・なるほど

北野会長：
だから、あとはさ

真田 孔明：
はい

北野会長：
昔の

真田 孔明：
はい

北野会長：
金屏風の話と一緒にや

真田 孔明：
はい

北野会長：
ね、その、たとえばさ・・・どっかそこ壺あるやね

真田 孔明：
はい

北野会長：
これ、ねえ、古代ギリシャ時代のものでさ

真田 孔明：
はい

北野会長：



80億するんやで

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、今ひとつ買っとかんかと

真田 孔明：

はい

北野会長：

んなもん値段なんて骨董品やのに、いくらつけたって好きなだけや

真田 孔明：

うん

北野会長：

で、現金を隠す嘘やっとなのや

真田 孔明：

はい

北野会長：

本当は、ね、「いや～価値あると思ってテーブル買ったんだけどね、2億だったんです」って

真田 孔明：

爆笑

北野会長：

金庫に入っとる

真田 孔明：

金庫に入ってる

北野会長：

金庫に、そやる？

真田 孔明：

はい



北野会長：
じゃ2億払わんといかんのかと

真田 孔明：
はい

北野会長：
お前、あれ2億のテーブルや

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
ね、そのスタンドテーブル売れないかと、2,000万で買った 笑

真田 孔明：
ああ〜

北野会長：
そやる？そんなや、ちょっとだからそういう事知ってればね

真田 孔明：
はい、激安 笑

北野会長：
「いや〜2,000万なら安いですよ、こんなもん」、スタンド、どお？

真田 孔明：
はい

北野会長：
という話とおんなじだっていう事、まあ昨日やったかな？あなたのサイトで書いたもん、パラ
パラと読んでたら

真田 孔明：
はい

北野会長：
ほとんど



真田 孔明：

はい

北野会長：

吸収しとるね、知っとるね

真田 孔明：

あ、本当ですか

北野会長：

だからすごいもんやと

真田 孔明：

いやいやいやいや

北野会長：

知能指数が高いのか

真田 孔明：

笑

北野会長：

ちゃんと録音が回ってるのか

真田 孔明：

いや～

北野会長：

あんたそうやねえ～、こう究極的なとこと

真田 孔明：

はい

北野会長：

きれから言うと

真田 孔明：

うんうん



北野会長：
ね、本当は金持ってたら

真田 孔明：
はい

北野会長：
金持ってたら、動かない方がいい

真田 孔明：
動かない方がいい・・・うん

北野会長：
もっと簡単に言うと働かない

真田 孔明：
働かない 笑

北野会長：
そうやないかい、いや物販どんだけやってもね

真田 孔明：
はい

北野会長：
ね、24%なんか、どこの決算書見ても

真田 孔明：
勝てるわけないですよ、これに

北野会長：
そやる？

真田 孔明：
はい

北野会長：
経費はあるし

真田 孔明：



はい

北野会長：
税金を取られるし

真田 孔明：
人材要らない

北野会長：
そやる？掛けるもんないんやから

真田 孔明：
はい

北野会長：
ね、またそう言ってさ、初めて会った人にさ、こういう極端な話すると

真田 孔明：
はい

北野会長：
相手が頭いかれてるのか

真田 孔明：
爆笑

北野会長：
自分がいかれてるのか、ハッキリわからんようになってしまうかなと 笑

真田 孔明：
はい、また今回のプラチナとゴールドのメンバーは

北野会長：
うん

真田 孔明：
もう僕が書いたあの文章、全部読みきっている人が

北野会長：
そやる？



真田 孔明：

こうやってわかってる人、さあ自分はどうしようかって方がね

北野会長：

あ〜ん

真田 孔明：

一人、弁護士さんで、一人がね、保育園を何店舗か経営されている人で

北野会長：

あ〜ん

真田 孔明：

あとは、そうですね、これから事業始める人

北野会長：

あ〜ん

真田 孔明：

あとは、え〜シアトルでラーメンしてる人、あと香港の玉利さんって言って

北野会長：

ああ〜

真田 孔明：

僕のバンダイ時代の、10年ぐらいの関係で、今は香港で、まあ保険の販売やってるんですけどね

北野会長：

ええ、ええ

真田 孔明：

生命保険の

北野会長：

うん、玉利って？

真田 孔明：

玉利



北野会長：

ああ～

真田 孔明：

生命保険の販売、資格持ってやってる人がいて、その人が今回来るんですよ

北野会長：

おお～、でもなかなかしっかりした事書く人やね

真田 孔明：

あ、そうですね、ぴしっとね

北野会長：

うん

真田 孔明：

同じ会社の先輩なんで、悪い人じゃないってわかってるんで

北野会長：

うんうんうんうん

真田 孔明：

ま、10年ぐらいで、無茶はしないし

北野会長：

うんうん、あ、でも人間ってのは、たとえば、その、あなたは

真田 孔明：

はい

北野会長：

点と点を合わせて、ね、面積作るんや

真田 孔明：

はい

北野会長：

これが上手なんやて



真田 孔明：

ああ～

北野会長：

玉利さんは失礼だけど

真田 孔明：

はい

北野会長：

しっかりした文章も書くし

真田 孔明：

はい

北野会長：

考え方もしっかりしてるんやけど

真田 孔明：

はい

北野会長：

あれでは、点と点で線にはなっとる

真田 孔明：

うわあ～

北野会長：

線には

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、面積にならんのやて、あの人の

真田 孔明：

あ、そうですか 笑 それでもよく文章だけで、ぱっとすぐに・・・

北野会長：



そう、だから

真田 孔明：

わかつちゃうんですね

北野会長：

パツとこうやって見たらすぐにわかるやろ

真田 孔明：

うわあ〜すごいですね

北野会長：

うん、そう思わなね？

真田 孔明：

多分本人も、気づかれてます、そこは

北野会長：

そやろ？だから孔明は、何でこんなに金儲けをパツとこう、ね、点と点打つ人なんか、いっぱ
いおる、世の中

真田 孔明：

はい

北野会長：

もう1個

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、北の大富豪いうてわけのわからない名前つけてさ

真田 孔明：

爆笑

北野会長：

笑 金になるんや、そやろ？

真田 孔明：



よどんでるから 笑

北野会長：

ね、だから

真田 孔明：

はい

北野会長：

俺は商人やから

真田 孔明：

はい

北野会長：

特にそういうのをね

真田 孔明：

うん

北野会長：

見てわかるんやて

真田 孔明：

なるほど、はい

北野会長：

だからその言葉のきれってさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、あのどういふの？間違っても

真田 孔明：

はい

北野会長：

ば〜んと日本の国批判したりさ



真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、「これ孔明さん、大丈夫なんですか？」「いや、鉄板焼きですよ」

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

この押しがガッとないとさ

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

ね、きれいな文章やったらさ、ね、誰もくっついて来るんのやて

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

魅力がないから

真田 孔明：

はいはい

北野会長：

やっぱ魅力のある文章をいかに書けるかってのが、俺は勝負目やないかと思う

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

ただ俺が言うのは

真田 孔明：

はい



北野会長：

ね、このサイトをもし続けていくために必要なのは

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、まず、10億ぐらいの話が必要なのか

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

それとも100億に・・

真田 孔明：

はい

北野会長：

それも皆さん若いと思う

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね

真田 孔明：

まずただ融資引っ張ってこれても、数千万レベル、マックスで1億だと思うんですよ、まだ僕たちのレベルだと

北野会長：

ああ～

真田 孔明：

あの～どんどんやってても

北野会長：

ええ、ええ



真田 孔明：
まだ1年目なんで、今年

北野会長：
うんうん

真田 孔明：
まずはそこで、まずはとりあえず、あのその～政治献金案件を

北野会長：
ええ、ええ

真田 孔明：
これは本当に日本の中枢パーティーってのがあって、そこから取って来たんだよって事が事実だとわかって、そこにじゃあわかった時に入れられるじゃないですか、みんな

北野会長：
うんうん

真田 孔明：
うん、ただ全部、今のところ僕の間接的な情報だけなんでね

北野会長：
うんうん

真田 孔明：
入れられなかったんですけど、100万ぐらいしか、100万～200万しか・・・

北野会長：
う～ん

真田 孔明：
中には数千万ぼ～んに入れちゃってる人いますけどね

北野会長：
う～ん

真田 孔明：
う～ん



北野会長：
だから

真田 孔明：
はい

北野会長：
だから、私が言うのは

真田 孔明：
はい

北野会長：
この一番簡単な計算式から始まったのは

真田 孔明：
計算式、はい

北野会長：1,200万

真田 孔明：
はい

北野会長：
ものすごいリーズナブル

真田 孔明：
うわあ〜、そうっすね、確かに、これは

北野会長：
1,200万が1億になってまうんやから

真田 孔明：
はい

北野会長：
そこらを

真田 孔明：
はい



北野会長：

う〜ん

真田 孔明：

熱いっすね、これは、単純なところに、やっぱ答えはありますよね、いつもね

北野会長：

そう、単純なんや

真田 孔明：

笑 みんな複雑から考え過ぎちゃってさ 笑 難しい事・・・

北野会長：

だから俺から言うと

真田 孔明：

はい

北野会長：

本当は

真田 孔明：

はい

北野会長：

いやもしロットでさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

何億って金持ってる

真田 孔明：

はい

北野会長：

奴がいるんだからさ



真田 孔明：

うん

北野会長：

これまで俺、1億2,000で

真田 孔明：

はい

北野会長：

数字を並べてさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

24%で

真田 孔明：

はい

北野会長：

10年転がしたら・・・

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、あっちの1億2,000が10億になるのね

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

でもさ、10億で月2分いたって

真田 孔明：

はい

北野会長：



ね、たった2,000万かもしれん、でも2,000万毎月使う、普通の人はいないでしょ？

真田 孔明：
いないですね

北野会長：
うん、だからどこを引っ張ればいいのか

真田 孔明：
はい

北野会長：
ね、このブラックのおじさん達でさ

真田 孔明：
はい、ブラックのおじさん 爆笑

北野会長：
少年で世界投資

真田 孔明：
爆笑 あ、結構もう、年はもう70超えてる方とか？

北野会長：
いやいや、超えてる、で、もうこう毛がなかったりしてるんやけど

真田 孔明：
はい、でも現役でやってるんですか？

北野会長：
やってるやってる

真田 孔明：
爆笑

北野会長：
バリバリやってる

真田 孔明：
バリバリ 爆笑



北野会長：
それがさ、市長のパーティーとかさ

真田 孔明：
ああ～

北野会長：
そういうところ行くとまた市長も

真田 孔明：
はい

北野会長：
日系やから

真田 孔明：
ああ、そうですか？

北野会長：
どんどんそういう人が来るや

真田 孔明：
ええ

北野会長：
ね

真田 孔明：
はい

北野会長：
で、また、ね、おじさんに言われて少年から聞いた話で

真田 孔明：
はい

北野会長：
ね、ここは自分は甘かったと



真田 孔明：

う～ん

北野会長：

ね

真田 孔明：

そうなんですか 笑

北野会長：

少年がよ、なんとも、64歳の少年がおるか？って聞きたいよな、マジで、でもやっぱね

真田 孔明：

はい

北野会長：

あの～、その上に行きや上がおるね

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

だからあんた最近、何か100億みたく孔明さん持ってって、100億狙っての話かなって・・・

真田 孔明：

はい

北野会長：

このレースのこのゼロのつけ方だけで、変わってるぐらいだから

真田 孔明：

うんうん、金融工学ですね

北野会長：

1億2,000万の、な、金融工学ってあんた書いてあっけど、本当は $3 \times 3 = 9$ やないかい

真田 孔明：

はい、 $3 \times 3 = 9$

北野会長：



掛け算やないかい

真田 孔明：

はい

北野会長：

じゃあ、 $3 \times 3 = 9$ の9

真田 孔明：

うん

北野会長：

9かける9は？

真田 孔明：

81

北野会長：

そやる？

真田 孔明：

はい

北野会長：

一緒の掛け算なのに、どうしてこんなに倍数が違うの？

真田 孔明：

うん

北野会長：

そう思わん？

真田 孔明：

はい

北野会長：

それはなぜかって？

真田 孔明：

はい



北野会長：
ね、情報工学かける金融工学や

真田 孔明：
はい

北野会長：
掛け算しとるわけや 九九は

真田 孔明：
はい

北野会長：
ね、これをかけるから、倍率が増えとるんや

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
定期預金が0.1%なのに

真田 孔明：
はい

北野会長：
ね、なんでお前、利回りが24%？ こんなバカな話ないでしょ？

真田 孔明：
はい

北野会長：
だからそれが今の日本の現実の流れや

真田 孔明：
はい

北野会長：
ただ、東京の方を強く書くと



真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、もしそういう文章が、余計でどっかから耳に入ると

真田 孔明：

はい

北野会長：

ちょっとおかしいかと、内部漏れしとるんじゃないかと

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

勘ぐられても嫌やん？

真田 孔明：

はい

北野会長：

俺に

真田 孔明：

はい

北野会長：

東京も

真田 孔明：

はい

北野会長：

いるものはこれやから

真田 孔明：

ああ～

北野会長：



ね、こっちのおじさんにもね、社長ゆうといってくれみたいな事言うからさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

こっちかて、ね、何者かさ、たま幾つ持っとるのか知らんで

真田 孔明：

はい

北野会長：

しゃべったらさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

去年、あんた方、成田に電話しとったやろ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

俺と？

真田 孔明：

うん

北野会長：

あの後すぐここ来たわけやから、成田から

真田 孔明：

はいはい

北野会長：

そしたらさ、ね、少年から聞いた案件が、すごくよかった案件がやて？話が・・・

真田 孔明：

はい



北野会長：

ね、「あんたいくらたま入れたの？」って聞いたらさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

「いや～少ない少ない少ない、ちょっと1本ぐらい」

真田 孔明：

はい

北野会長：

1本なら1億かなと普通思うやろ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

後ろにゼロついとったら、どういう事になるって

真田 孔明：

はい

北野会長：

だから恐ろしい

真田 孔明：

ああ～、聞いた話だけで10億入れてるんですね 笑 本当

北野会長：

いや、それくらいまた案件がしっかりしとると思うから

真田 孔明：

うん

北野会長：

まあまあ、ね、まあ少年が言うとっても



真田 孔明：

うん、はい

北野会長：

使いで来とるんやから

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

まっとるでいいのなら10億ぐらいなら入れておくかなと

真田 孔明：

うん

北野会長：

ね、それと今回入れるの、ね、そんなの中にいたら困るから

真田 孔明：

はい

北野会長：

議題を100億から、バンとこうかけてくのか

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、そんな事思わへん

真田 孔明：

うん

北野会長：

話をしとる

真田 孔明：

はい

北野会長：



こっちはパーセンテージと、こう言うとするわけさ

真田 孔明：

うん

北野会長：

まああれ、利回りいいですよと

真田 孔明：

はい

北野会長：

でもさ、こう金額を1,200万と1億2,000万と12億とさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

間違うと大変な事になるわけよ

真田 孔明：

ええ、ええ

北野会長：

話聞いた人が

真田 孔明：

はい、まずこれですね、この方程式ですね、まずは

北野会長：

うんうん、まあこれを、ま、そのレベルならいいんやけど

真田 孔明：

はい

北野会長：

だから、まあ付け加えてさ、もし1億2,000万キャッシュで持ち込まれる人がいたら、ゼロひとつ増えて、ね、計算式を

真田 孔明：



はい

北野会長：

「1億になるのも10億になるのも一緒ですから」と

真田 孔明：

それは追伸で入れとけばいい 笑 追伸で、なるほど

北野会長：

いやいやだから、12億

真田 孔明：

はい

北野会長：

回しとる、ね、我々みたいな来たら

真田 孔明：

はい

北野会長：

それは100億を目指しとる

真田 孔明：

はい

北野会長：

駒やから

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

だからそこら辺、違うもんで

真田 孔明：

はい

北野会長：



あんたに聞いとかんとして、中にはもう、「もっとすごいたま回そうかと来とる人もいるんだよ」、みたいな事言われるとさ

真田 孔明：

うん、まだこのレベルで・・

北野会長：

100億で済むにはいかんやろ？

真田 孔明：

そうですね

北野会長：

あんたに1億7,000万飛ばしたの計算してみな

真田 孔明：

はい

北野会長：

あんた20年生きとったら、あんた

真田 孔明：

ねえ、もうあがりですよ 笑

北野会長：

あがりや 笑 マージャンのあがりや

真田 孔明：

まあ、これ面白い

北野会長：

これだけ計算式で

真田 孔明：

はい

北野会長：

$3 \times 8 = 24$ で24%言われとる

真田 孔明：



う〜ん

北野会長：

ね、だからやっぱ、それが最大限ずっと

真田 孔明：

うん、これって本当無敵ですよ？あの、ビジネスは、右から左にしかやってないから、どっちみちそっちの発生する利益って、限られているじゃないですか？

北野会長：

そうそうそうそう

真田 孔明：

本当に、税金いくら払おうがね、たかが知れてますよね？ 笑

北野会長：

でも去年までは、10%やったやろ？あれ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

今年から20%やよ

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

だったらね、10と20、全部倍なの

真田 孔明：

ああ〜

北野会長：

我々から言うと

真田 孔明：

はい、大違いですね

北野会長：



そやる？・・あれ？もう時間なの？

北野会長：

なら、どっか、あの向かいの方まで歩いて行くから

真田 孔明：

はい、わかりました

